

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 一般 - 02

| | |
|---|-------------------|
| 学校名・団体名 | 宮古市立磯鷄小学校 |
| HPアドレス | なし |
| コース | 学校支援 |
| 活動・研究 テーマ | 実感を伴った理解のためのものづくり |
| <p>〈活動・研究の意義、目的〉 ねらい 「ものづくりに積極的に取り組むことにより、自然の事象・現象についての実感を伴った理解を図る。」</p> <p>活動の特色 ものづくりのための道具セットをグループ数準備することにより、ものづくりの取組を推進するとともに作業を円滑に進めることができるようにする。</p> <p>期待される成果</p> <p>〈児童〉 ものづくりをすることで、学習意欲の向上や既習内容を確認することができる。 ものづくりをすることで、創造性や思考力・判断力・表現力を育成することができる。</p> <p>〈教師〉 ものづくりを行うときに、道具セットを準備することにより、すぐに行うことができる。 ものづくりをすることで、教師自らがものづくりの良さや理科の面白さを実感することができる</p> | |

平成29年8月に教育振興助成の決定通知をいただき、早速、本校から2名の教諭を全国小学校理科研究協議会研究大会 東京大会に派遣した。全国の小学校で行われている理科教育の動向や今後の方向性を探る上で大変有意義な研修となった。

その後、校内研究の一環として、ものづくりの実践を行いながら、児童の実感を伴うものづくり活動の在り方を検証してきた。

<5年 【ふりこのきまり】 ものづくり 授業風景 >



単元学習の終わりに、子どもたちは、「振り子のきまり」を使ったおもちゃ作りに挑戦……。子どもたちは、実際に自分の目で見て振り子の特性を実感しながら周期を保って動くおもちゃを思い思いに作っていった。

中には、教科書を見直しながら作業をする子、自分の思い描いた設計図どおりとはならず、何回も作り直す子、等様々な反応が見受けられたが、作業終了後の作品発表では、みんな笑顔で自作のおもちゃを発表していた。

<3年 【作って遊ぼう】 ものづくり 授業風景 >





これまで学習してきた電気や磁石の性質やはたらきを利用したおもちゃを作る中で、電気や磁石の性質について学習したことを振り返った。子どもたちは、身近にある電気、磁石の性質をうまく利用しようと試行錯誤しながら、おもちゃ作りを夢中になって行っていた。

工具セットを活用しながら、通电させる工夫や磁極の性質を使った工夫も見受けられ、実感を伴うおもちゃを作ることができた。

「研究のまとめと次年度へ向けて」

今年度、助成金からものづくり工具セットを購入できたことで、効率よく活動を進めていくことができた。また、子どものみならず教師自身が「ものづくり」の重要性を顧みる機会となった。子どもたちの科学的思考力をステップアップさせる場として、今後も単元の終末にもものづくり活動を行っていききたい。

